

市長の教育委員任命責任を問う

保育料等改定 2 議案を否決・補正予算は修正可決



第68回国民体育大会山岳競技
リハーサル大会が開催されました
(= 6月1日東久留米市スポーツセンター)

平成25年第2回定例会は6月4日から25日までの会期で開催され、市長提出議案12件、議員提出議案(意見書・決議案)6件、請願27件を審議しました。結果は4面をご覧ください。

子ども・子育て会議条例を可決

「東久留米市子ども・子育て会議条例」は、6月13日の厚生委員会審査され、6月25日の本会議において全会賛成で可決されました。本案は子育て支援に関わる施設提供者や利用者などの参画の下、次世代育成支援行動計画(後期)の取り組み等の評価や、ニーズ調査に基づく子育て支援事業の需要計画や供給計画等を取りまとめる合議制の機関を設置するものです。

認可保育所保育料および学童保育所費改定を否決

「東久留米市児童保育運営費徴収条例の一部を改正する条例」および「東久留米市学童保育所設置条例の一部を改正する条例」は6月13日の厚生委員会審査され、6月25日の本会議において賛成少数で否決されました。

【委員会での質疑から】
①実施時期は、②次世代育成支援行動計画策定時に行った調査との違いは。
答弁 ①9・10月に実施を予定している。②全国一斉

【委員会での質疑から】
「東久留米市児童保育運営費徴収条例の一部を改正する条例」および「東久留米市学童保育所設置条例の一部を改正する条例」は6月13日の厚生委員会審査され、6月25日の本会議において賛成少数で否決されました。

一般会計補正予算修正可決

平成25年度東久留米市一般会計補正予算(第3号)は6月18日の予算特別委員会審査され、25日の本会議において賛成多数で修正可決されました。

補正予算案は負担金、補助金等の歳入、旧いずみ幼稚園舎解体等委託費用、子ども・子育て会議運営経費、子宮頸がん予防等ワクチン接種助成費などの歳出を増額し、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4858万7千円を追加し、歳入歳出それぞれ389億2478万7千円とするものでした。修正案は先の厚生委員会で否決された認可保育所保

緊急質問

今定例会で追加提出予定とされていた7月31日に任期満了を迎える「教育長を前提とした教育委員」の任命議案提出を自身の任期中は見送る旨の市長の発言を受け、6月25日に緊急質問が行われました。

緊急質問の質疑の後、議員より市長に猛省を求める決議案が提出され、賛成多数で可決されました。全文を左記に掲載します。

【緊急質問での質疑より】
質問 自身の任期中は任命を見送るといふ発言は法的にも問題である、訂正すべきではないか。

市長 訂正する考えはない。現在の状況を勘案し、今後見直しをしっかりと伝えたい。法に照らしてということに関しては違法だとの見解を持っていない。

質問 教育長不在の場合、市長はどのように責任を果たすのか。

市長 可能な限り、教育委員会と意思疎通を図り、そのないよう努める。

質問 任期満了による1名減という事態について、教育委員会の見解は。

教育長 答弁を聞いていると怒りを覚える答弁であり、たししていただきたい。

市長 訂正する考えはない。現在の状況を勘案し、今後見直しをしっかりと伝えたい。法に照らしてということに関しては違法だとの見解を持っていない。

質問 教育長不在の場合、市長はどのように責任を果たすのか。

市長 可能な限り、教育委員会と意思疎通を図り、そのないよう努める。

質問 任期満了による1名減という事態について、教育委員会の見解は。

教育長 答弁を聞いていると怒りを覚える答弁であり、たししていただきたい。

教育行政に対し無責任な東久留米市長馬場一彦君に猛省を求める決議

5月28日の議会運営委員会において、馬場市長は本年7月31日をもって任期満了を迎える教育長を前提とした教育委員の任命について、「私の任期中に関しまして、現在の状況を勘案いたしますと、とりわけ教育長を前提といたしました教育委員の任命、こういったものは見送らせていただくこととなります。」と、任命議案の提出を見送ったばかりではなく、教育委員とは無関係な自身の任期を持ち出し、自身の任期中の選任は行わない旨の発言を行った。

当該発言は、教育委員会の重要性和「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の趣旨に照らしても、当然受け入れることのできない発言であり、議会運営委員長より、教育委員の欠員が生じないよう、市長の責任を果たすべく、選任に向けての努力を要請した。

しかしながら、本日の議会運営委員会での市長の回答は、「努力を継続すべきという指摘に対して異論を持つものではない、真摯に受け止め、教育長を前提とした教育委員の選任に努めていくようにはさせていただきたいと思っております。しかしながら、見直しは立たないということも現時点では現実である。今後さらに状況が厳しくなることは議員各位にもご案内の通りである。」という曖昧な答弁に終始し、また、これを正すべく行われた緊急質問でも議会からの指摘に真摯に向き合うことはなかった。

このままでは、今後の教育行政に支障をきたす可能性が極めて高い。市長のこの間の言動は、地方公共団体の長としてあまりに不適切で、教育行政の課題が多く山積する中、教育行政に携わる方々をはじめ、市民や関係保護者等に対して極めて無責任である。

よって、東久留米市議会は、東久留米市長馬場一彦君に対し猛省を求めるものである。

今号の内容案内

- 一般質問……………2・3面
- 新型インフルエンザ等対策本部条例を可決……………4面
- 議案・請願審議結果、意見書・決議など……………4面
- 市議会構成員一覧(平成25年6月4日現在)……………4面